



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2007年6月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL
代表者 清水 聡 (会長) 10636-148St, Edmonton, Edmonton, Alberta, T5N3H1 TEL: 452-6093
借用校舎 RICHARD SECOND SCHOOL 4025-117 St
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<会長からのメッセージ>

もうすぐ夏休みとあって、我が家の子供たちはますます元気に走り回っていますが、皆さんのご家庭ではいかがでしょうか?

さて、先月号でもお伝えしましたが、学校移転に関していろいろと検討した結果、しばらくの間(当面一年間の予定)は、いままでのリチャードセコード校(RS校)に留まることになりました。留まるにあたって、9月より専用スペースとして借りている補習校のライブラリースペースを教室として使うので明け渡ししてほしい、との要望がRS校から出されたのですが、補習校としては本の貸し出しがまったくできなくなるのは困るという事情を説明して交渉した結果、RS校の図書室に補習校の本棚を置かしてもらえることになりました。RS校の図書室に置くことのできる本棚は6つ、新校舎問題担当のロバートソン主導で役員と保護者有志が協力しあってオリジナルの特注品を作っております。

図書係のロペスさんの助言を仰ぎながら、絵本や漫画、物語の本など、子供たちが楽しみながら日本語に触れることができる本を中心に、学校に残す本が選別されました。6つの本棚に入らない蔵書は、箱詰めした上でどこかに1年間保管することになります。その際には、会員の皆さまにもお願いするかもしれませんが、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

来年度からの校舎については、アーガイル校リース権獲得に向けてのエドモントン市との交渉が継続中です。また、今回、新校舎探しで出会った際にとっても前向きに対応してくれたボニードゥーン近くのフレンチスクールとも、連絡をつないでいく意向です。

ヘリテージ祭、今年は私たちがホスト校として開催する北米補習校教師研修会、さらにはサマーキャンプ、と夏休み中も何かと忙しくなりそうです。怪我や病気に気をつけて、9月に元気にお会いしましょう。9月最初の授業日は9月7日(金)です。

会長 清水 聡

<校長からのメッセージ>

早いもので、もう一学期も終わりに近づきました。4月以来、先生方は月案に沿って授業を行ってまいりましたが、どのクラスもほぼ予定通り進んできました。今月最終日には夏休みの宿題が生徒に渡されます。宿題の内容は一学期の復習が中心ですが、生徒の皆さんは、毎日少しずつやって、これまで学んだことを着実に身に付けて欲しいと思います。また、日本語でたくさん本を読んだり、ビデオやDVDのドラマを見るなど、

普段あまりできないこともやって欲しいです。ぜひ、ご家庭で日本語の力が付くような工夫をしてみてください。

役員会と教師会の協力で、今年も8月にサマーキャンプを行うことになりました。今年は、高学年だけでなく低学年も対象となって、それぞれのコースが用意されています。テーマは「牛」で、牛、牛乳生産、乳製品などについて、広く学ぶ予定です。現在、担当の教師、役員がいろいろと計画・準備中です。「国語」教科とは違った日本語を学ぶ、またとないチャンスになると思っています。

さて、昨年以来の学校探しも、ようやく終止符を打ちました。あちこち当たっていたのですが、「図書室を返却するならば、もう1年使用してもよい」と、現在借用しているリチャード・セコード校より返事をもらい、そうすることに最終決定しました。その代わり、リチャード・セコード校の図書の一部に私達の本棚をいくつか置かせてもらうだけになりますので、9月から貸し出しできる本は今までの三分の一程度に減ります。残りの本を各家庭に手分けして保管してもらうなど、皆様にはご面倒をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。この決定に至るまで、また、今後の校舎借用等の対策も含め、役員の方々、とりわけブルース・ロバートソンさんにはたいへんご尽力をいただきました。心からお礼を申し上げます。これからもリチャード・セコード校を使わせてもらうことになりますが、迷惑をかけないように私達はいつそう注意をしていきたいと思います。

6月16日には、EJCAと合同のピクニック・運動会がありました。途中で雨がぱらついたようでしたが、暑からず、寒からずでちょうど良かったと思います。生徒たちはおおいに走り、踊り、綱を引っ張り、クイズに頭をひねり、その他種々の催し物に参加して、楽しく過ごしました。このような体験は、生徒たちが成長したときに、きつととても良い思い出として残ることでしょう。この日のために準備をしてくださったり、当日協力をしてくださったEJCAの方々、保護者の方々、お疲れさまでした。EJCAの方々が用意してくださったハンバーグやホットドック、学校側が用意したポットラック、どちらもたいへん美味しく、皆が舌鼓を打ちました。とても良い親睦の場であったと思います。

それでは皆様、楽しい夏休みをお過ごしください。

校長 常田いち子

＜第75回全国書画展覧会への参加のお知らせ＞

昨年同様、今年も広島県安芸郡熊野町主催の全国書画展覧会に参加したいと計画しております。（詳しくはウェブサイト <http://www.shogaten.com> をご覧ください。）今年の課題は以下の通りです。

小学	1・2年	つ・て・十・山
	3年	大・月
	4年	光・力走
	5年	雲・草原
	6年	道・情熱
中学	1年	新風・白夜
	3年	理想・創造

二学期の初日、**9月7日**に岡本浩子先生にご指導いただき、参加作品の準備をします。夏休み中にできる人は練習をしてください。今年も頑張りましょう。
校長 常田いち子

＜ヘリテージ祭のお知らせ＞

毎年恒例の、ヘリテージフェスティバルが、8月4・5・6日の3日間、催されます。日本語補習校としては、お面、ヨーヨーの販売を行い、サマーキャンプの費用の一部に充てたいと思っています。また、フェスティバルのための準備（焼き鳥串刺し、テント設営）、および当日の手伝いにもできるだけ参加したい、と考えております。

先にお渡ししました、ヘリテージボランティア募集の用紙にお名前を書いて、学年リーダー、あるいは、ダンウォルドさんかジョスリンさんにお渡し下さい。参加できない方も、お名前とその旨を記載の上提出していただくと、助かります。後日、ヘリテージ委員より、決定したシフトをお知らせいたします。

役員会

＜「さくらツリー」出版記念原画展のご案内＞

アーティストのKaren Brownleeさんのイラストによる「The Sakura Tree」という絵本が発売されるのを記念して、EJCAにて原画展が開催されます。お子様に絵本の原画をみせる良い機会です。皆様お誘い合わせのうえ、ご来場くださいますようお願い申し上げます。（EJCAにて開かれる絵本原画展の案内は <http://ejca.org/events.html> で見るができます。）

Karen Brownleeさんから ご来場の際、着物姿のお子様のご来場を要望されています。イラストに多く着物姿が描かれているからです。ご協力できる方がいましたら、是非、着物でご来場下さい。

イベント名	The premier of Karen Brownlee's traveling exhibition of watercolour paintings
日時	6月23日（土） 11:00am～3:00pm

場所	EJCA（入り口を入れて左側のミーティングルームにて）
プログラム	11:00am Exhibit open for viewing
	1:00pm Artist Presentation and reading, followed by book signing
	3:00pm Close of exhibit

元田 幸子

＜日本語能力検定試験のお知らせ＞

今年より、アルバータ大学高円宮日本センター主催により、日本語能力検定試験がエドモントンで実施されることになりました。今までは、トロントかバンクーバーまで行かなければ受験できなかった能力試験が、今年から地元で気軽に受けられるようになります。日本語は「外国語」ではなくとも、学年が上がるに従って、難しい漢字や高度な語彙に苦勞する補習校生徒にとっても、よい力試しの機会になるのではないかと思います。試験の概要を下記しましたので、ご参照ください。さらに詳しい情報は、定期的に更新されるホームページの方で、追ってご確認ください。

We are happy to announce that Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Research has been approved as a testing centre for the Japanese Language Proficiency Test (JLPT). The Prince Takamado Japan Centre will start hosting the JLPT in Edmonton from this year. Those who have been unable to take the test due to the cost and/or time involved in traveling to Vancouver or Toronto (only two Canadian testing centres before us) can now take the test here in Edmonton.

We would like to request that you inform anyone that may be interested in this great opportunity. The details of the test are as shown in the table below.

The additional details will be made available in early July. Please periodically check on the Prince Takamado Japan Centre webpage.

日時：	2007年12月2日 日曜日 9:30-14:30 (予定)
場所：	アルバータ大学
受験級：	1～4級 (2レベルを同日に受験することはできません)
対象：	日本語学習者
受験料：	60カナダドル
ホームページ：	http://www.ualberta.ca/~ptjc/PTJC/index.htm
連絡先：	Prince Takamado Japan Centre for Teaching & Research ptjc@ualberta.ca

小林 麗

<デボニアンガーデンボランティアのご報告>

6月3日(日)晴天の中、多数のボランティアのみなさんの参加によりヨーヨーを販売しました。その結果、約120ドルの収益を上げることができました。子供たちも、ゆかたや甚平を着て、受付や販売のお手伝いをしてくれ、一日楽しめました。ご協力ありがとうございました。

役員代表 阿部 見香子

<運動会レポート>

6月16日土曜日、毎年恒例の、EJCAとの合同運動会が開催されました。天気にも恵まれ、けが人もなく(救急箱のお世話になった子が一人いた様ですが)、無事に、楽しく終わることができてよかったです。これも、Cathyさん、司会をして下さった中野さんとカズさんを初め、EJCAの方々、日本語学校のみんなの協力の賜物です。有難うございました。

むかーし、むかし、自分が子供だった頃の運動会の事を憶えていますか？私は、ビデオの様に詳細は憶えていないけど、切り取った写真の様にいろんな場面がまだ記憶に残っています。中学の運動会の時、応援合戦の団長で、毎日放課後皆で集まって練習をした事。レースを走る前の緊張感。得意だった長距離走で、ゴールライン直前で抜かれて負けた事。高校3年の時の運動会、最後、大雨に降られて、ずぶ濡れになった好きな女の子の体操着姿。得点発表の時の興奮。

振り返って見ると、思い出として残っているのは、頑張ってる練習した事とか悔しかった事、レース前のブレッシャー、などなど。中でも友達と一緒に自主的にやった事柄はよく憶えています。正直、運動会で、父や母の事はほとんど記憶にありません。

そう考えると、保護者がこんなに主体的に頑張ってる運動会ってないですよー？学校の性格上やむをえない部分もありますが、でも主役である生徒たちにもっと自主的に参加してもらいたいって思いました。事前に各クラスで話し合ったりやりたい競技を決めるとか、赤白対抗にするとか？でも、ちょっと大げさになり過ぎかな？

子供は、私達大人が思いもしないシーンに喜び、夢中になるものだ、思いました。今回の運動会でも、子供達がスイカ割りにあんなに夢中になるとは結構意外でした。子供達が好きな事と、大人が「子供が好きだ」と思ってる事は、違うのかも。私にとっては、学校の運動会って、やっぱり大きな思い出のひとつ。私達の子供にも、そんな思い出の一つになったらいいなと思いました。あなたが子供だった頃の、運動会の思い出って何ですか？

しかし、そんなことより何より、いちばん感じたことは、運動会で久しぶりに走って、筋肉痛がたまらん。年取ったなーってこと...です。

運動会担当役員 守田幸男

<父母のコーナー>

今月はお休みです。

我が家のお勧めスポットをぜひ紹介したい！という方は、ニュースレター編集担当の小林までご連絡ください。また、私のほうから、お勧めスポットコーナーへの執筆をお願いすることがありましたら、ご協力ください。投稿の締切りは毎月第三金曜日です。

<「おめでとう！」コーナー>

日加タイムズの子供感想文募集に参加した大沢真琳さんが、見事入選。題名は、「『てぶくろを買いに』(新美南吉著)を読んで」です。賞金50ドルをいただいたそうです。本の表紙と真琳さんの感想文を巻末に添付しましたので、どうぞご覧ください。真琳さん、おめでとう！

<「おめでとう！」コーナーへの投稿のお願い>

「おめでとう！コーナー」は、補習校生徒ならびに会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称えていくコーナーです。コンテストで入賞した、所属しているスポーツチームで著しい活躍を遂げた、などなど、いいニュースを募集しています。自薦・他薦どちらでも結構ですので、小林までお知らせ下さい。



<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の小林までご連絡下さい。投稿の締切りは毎月第三金曜日、発行は第四金曜日です。

<9月の当番>

6/22(金)	ヴァン、稲毛
9/7(金)	ヒューストン、池本
9/14(金)	植林、根本
9/21(金)	スワロー、高橋
9/28(金)	フェドロー、山本(奈)

当番の変更がありましたら、お早めにダンワールドまでお知らせ下さい(437-3457)。

スクールニュース校正
編集

渡辺 京子
小林 麗

「手ぶくろを買いに」を読んで

大沢 真琳

このお話は、私が日本語学校で習った作者が書いた本だからこの本を読むことにしました。「手ぶくろを買いに」のお話では、子ぎつねが自分のつめたい手を温かくするために手ぶくろを買いに行くお話です。子ぎつねのお母さんが人間にしてくれた手をお店で出さず、本当の自分の手を出してしまったのです。でも手ぶくろを売っているおじさんは、お金が本当だったから手ぶくろをあげました。話の中の子ぎつねは、まだ小さいからいろんなかわいい事を言います。たとえば手がちゅめたいと言います。子ぎつねが「手がちゅめたい」と言うとお母さんぎつねがそのかわいいてを温めたい気持ちがよく書かれています。子ぎつねが手ぶくろを買いに行き帰って来た時ののお母さんぎつねがとても喜んで、私もうれしくなっていました。新美南吉は、たいへん上手に、びょうしゃをしていると思います。たとえば「雪がキラキラ光っているとかいろんなきれいなびょうしゃをしています。この作者は、いつも一つのことたくさん書いているのだからかんしんします。この話からいろんな想像ができました。いろいろなびょうしゃを使って想像ができるようにしています。いつもなにかが想像できるように書いてあります。他の物語では、きつねは、ばけて、悪いと書いてあるが、この本を読んでいいきつねもいると分かりました。新美南吉の本は、みんないいきつねが入っています。「ごんぎつね」という本もいいきつねが入っています。わたしは、どうしてみんながきつねをこわがるのか、分かりません。物語で、きつねや、たぬきは、ばけるからでしょうか？でも私は、そういう事は、しんじません。

この本は、低学年の子供たちも、楽しめます。きっとみんな読んだらすばらしい言えると思います。このお話は、小さい子が読めるように全部漢字にふりがながうってあるし、いろんなきれいな想像ができるようになってからみんなすばらしい言えると思います。

私は、どうして店の人が、きつねだと分かったらすぐに追いかけてなかったのかとおもいます。ふつうは、みんなきつねだと分かったらぜったい追いかけるか、追い出すとおもいます。それにどうしてこぎつねは、雪を見たがないのだろうと思いました。だって夏に生まれたら分からないし、生まれたばかりだから分からないが、去年生まれたらわかるはずだと思います。この本の話は、このさむいカナダで起こっているみたいな気がします。寒いし、雪があるし、草があるし、林がたくさんあるからです。私は、この話が好きです。きれいなお話だからです。「次の話は、ないのかな。」と思ってしまいました。次の本があったらまたその本を最初から最後まで楽しく読めるからです。次のお話があったらどういう題名なのかすごく知りたいです。この話は、私の心にすぐくのこりました。

